

カリキュラム Curriculum	文学研究科MC		ナンバリング Numbering	
番号 Number	科目種別 / 学科目 Course title	転用科目 Substitute for		種別 Subject type
1211	インド思想史 <History of Indian Thoughts>			講義
専攻 Major	担当教員 Instructor(s)	開講期 Semester	開講時間帯 Day and time	
インド文学	和田 壽弘(WADA Toshihiro)	後期	火曜：3限	
講義題目 Title	新ニヤヤー学派の推論理論			
単位 Credit	2			
備考 Others				
履修条件 注意事項 Requirements for registration	サンスクリット中級の知識とインド哲学史の基礎知識が必要。			
授業の目的 Purpose	<p>インド仏教思想における論理学・認識論は、後のインド論理学に大きな影響を与えた。仏教論理学の綱要書を読解することにより、インド人の基本的な思考法を学ぶ。インド哲学が有する宗教的側面を学ぶことにもなる。これは「公民」に必要な哲学的宗教学的素養を培うことになる。</p> <p>This course aims to improve students' ability of reading higher Sanskrit. At the end of the course, they are expected to acquire deeper knowledge of Buddhist logic and New Logic, i.e., Navya-nyaya, in India. Our inquiry into both systems of logic will lead us to reflect what logic is and how we understand logicity.</p>			
授業の内容 授業の方法 Content	<p>7世紀頃に書かれた、仏教論理学の綱要書『ニヤヤー・プラヴェーシャ』（論理学入門）のサンスクリット原典を読む。学生の理解度を確かめるために多数の質問をする。講義の後の質疑を繰り返すことにより理解が深まるので、十分な議論の時間を設ける。学生は十分な予習をすることが期待される。</p> <p>授業計画</p> <p>第1回：仏教論理学の歴史</p> <p>第2回：論理学と存在論</p> <p>第3回：『ニヤヤー・プラヴェーシャ』の諸註釈</p> <p>第4回：『ニヤヤー・プラヴェーシャ』の構造</p> <p>第5回：推論過程の構造</p> <p>第6回：誤った推論：不成立理由</p> <p>第7回：誤った推論：不確定理由</p> <p>第8回：誤った推論：矛盾</p> <p>第9回：誤った推論の特徴</p> <p>第10回：知覚と推論の特徴</p> <p>第11回：誤った知覚と推論</p> <p>第12回：妥当な論破と非妥当な論破</p> <p>第13回：言語と論理</p> <p>第14回：論理学の役割</p> <p>第15回：総括</p> <p>定期試験</p>			
教科書 テキスト Textbooks	Tachikawa, Musashi, " A Sixth-Century Manual of Indian Logic ", Journal of Indian Philosophy, vol. 1, pp. 111-145.			
参考書 References	<ul style="list-style-type: none"> ・宇井伯壽『東洋の論理』青山書院、1958。 ・泰本融「仏教論理学入門」『大乘仏教から密教へ』春秋社、1981、pp. 219-233。 			
受講生の 自宅学習 Preparation and review	予習は必須である。			

成績評価の方法と基準 Evaluation	試験 50%、平常点（予習の状況と授業中の質疑を評価対象とする）50%。
連絡方法 Contact information	E-mail: twada@lit.nagoya-u.ac.jp Phone: 052-789-2278